

2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年7月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所 東・札
コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 高橋 徹 (TEL) 011-558-7000
管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	8,903	△3.3	49	5.0	13	△75.1	39	24.5
2024年2月期第1四半期	9,208	0.3	46	95.7	54	89.1	31	109.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	30.99	—
2024年2月期第1四半期	24.90	—

四半期経営成績に関する注記

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	18,122	5,627	31.1	4,452.49
2024年2月期	17,916	5,615	31.3	4,442.97

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 5,627百万円 2024年2月期 5,615百万円

四半期財政状態に関する注記

四半期業績に関する注記

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,900	△0.3	269	△6.4	280	△7.1	206	4.5	162.99
通期	37,400	△1.4	497	△2.4	520	△2.9	360	17.4	284.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想に関する注記

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年2月期1Q	1,264,640株	2024年2月期	1,264,640株
2025年2月期1Q	725株	2024年2月期	725株
2025年2月期1Q	1,263,915株	2024年2月期1Q	1,263,915株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第1四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2024年3月1日～2024年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束による社会経済活動の正常化が進み、雇用及び所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の増加により、景気は緩やかな回復基調となった一方で、エネルギー価格、原材料費の高騰及び為替変動による景気への影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、業種、業態を超えた厳しい競争に加え、長引く物価高によるお客様の節約志向や買い控え傾向の一層の強まりの他、原材料価格や諸経費の高止まりにより、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティラッキー」(高品質商品)、「ナチュラルラッキー」(オーガニック食材など)の二つに重点を置いております。これにより、お客様には品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築いてまいります。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2024年5月末で65.1%となり、前年同月末の62.1%から3.0%改善いたしました。ファミリー顧客層の深耕につきましては、前事業年度から設置したフードコーディネート部を中心とする新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。また、当事業年度より、お客様のお支払い時の利便性を高めること、若年層及びファミリー顧客層の新規獲得などを目的として、dポイントを導入いたしました。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中する事でコスト削減を実現しております。

⑤につきましては、業務推進室によるオペレーション効率の分析を通じて、商品の自動発注をはじめとした様々な業務の自動化及び労働時間の最適化に取り組んでおります。また、前事業年度から開始した全店へのセミセルフ/フルセルフレジの導入及びキャッシュレス決済端末の入れ替えが完了し、この設備更新により、待ち時間の短縮及び人件費の最適化に寄与しております。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善に努めました。

当第1四半期の売上高は89億3百万円と前年同期比3億4百万円、3.3%の減少となり、営業総利益は25億36百万円と前年同期比1億11百万円減少し、営業総利益率は28.5%と前年同期比0.3ポイント減少いたしました。

販売費及び一般管理費は減価償却費が31百万円増加いたしましたが、一方で雑給が19百万円減少、水道光熱費が38百万円減少、地代家賃が40百万円減少し、販売費及び一般管理費は、24億87百万円、前年に対して1億13百万円減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期の経営成績は、売上高は89億3百万円(前年同期比3.3%減)、経常利益は13百万円(前年同期比75.1%減)、四半期純利益は39百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

当第1四半期累計期間における設備の状況につきましては、店舗の開店及び閉店は無く、2024年3月に「ラッキー岩内店」の改装を実施しております。

2024年5月31日現在の店舗数は、31店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して2億6百万円増加し181億22百万円であります。

その主な要因は、未収入金が1億38百万円減少、差入保証金が1億26百万円減少したものの、売掛金が1億37百万円増加、商品及び製品が1億28百万円増加、リース資産(純額)が1億14百万円増加、建設仮勘定が1億77百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して1億94百万円増加し124億95百万円であります。

その主な要因は、短期借入金が18億円減少、1年内返済予定の長期借入金が5億17百万円減少したものの、買掛金が2億50百万円増加、長期借入金が21億90百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して12百万円増加し56億27百万円であります。

その主な要因は、株主配当金により63百万円減少したものの、四半期純利益39百万円の計上及びその他有価証券評価差額金が36百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日の「2024年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,826	1,667,813
売掛金	983,199	1,121,171
商品及び製品	1,612,605	1,740,653
原材料及び貯蔵品	60,574	57,739
前払費用	79,927	87,169
未収入金	447,357	308,761
その他	95,703	34,576
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,976,926	5,017,617
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,476,696	11,487,573
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,649,918	△7,716,408
建物(純額)	3,826,778	3,771,164
構築物	762,470	762,470
減価償却累計額及び減損損失累計額	△644,927	△649,306
構築物(純額)	117,543	113,164
機械及び装置	2,176	2,176
減価償却累計額	△1,211	△1,260
機械及び装置(純額)	964	916
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	441,575	443,704
減価償却累計額及び減損損失累計額	△410,859	△411,608
工具、器具及び備品(純額)	30,716	32,096
土地	6,038,177	6,038,177
リース資産	1,132,122	1,253,671
減価償却累計額及び減損損失累計額	△399,333	△406,263
リース資産(純額)	732,788	847,408
建設仮勘定	6,127	183,962
有形固定資産合計	10,753,094	10,986,889
無形固定資産		
ソフトウェア	34,661	48,561
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	52,890	66,790
投資その他の資産		
投資有価証券	254,423	305,591
出資金	479	479
長期前払費用	47,310	45,662
繰延税金資産	389,719	384,061
長期預金	100,000	100,000
差入保証金	1,341,768	1,215,642
投資その他の資産合計	2,133,702	2,051,437
固定資産合計	12,939,687	13,105,117
資産合計	17,916,614	18,122,735

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,330,678	2,580,912
短期借入金	3,550,000	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,024,814	507,012
リース債務	229,572	264,018
未払金	537,295	308,999
未払費用	316,914	332,775
未払法人税等	110,261	38,798
未払消費税等	29,904	83,454
前受金	18,025	16,057
預り金	642,616	724,760
賞与引当金	112,373	213,440
流動負債合計	8,902,456	6,820,229
固定負債		
長期借入金	1,546,386	3,737,345
リース債務	657,666	749,590
退職給付引当金	852,888	852,261
長期預り保証金	254,118	247,946
資産除去債務	65,910	66,137
長期末払金	21,650	21,650
固定負債合計	3,398,620	5,674,930
負債合計	12,301,077	12,495,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	2,078,646	2,054,621
利益剰余金合計	4,543,646	4,519,621
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,534,614	5,510,589
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,922	116,984
評価・換算差額等合計	80,922	116,984
純資産合計	5,615,537	5,627,574
負債純資産合計	17,916,614	18,122,735

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	9,208,775	8,903,859
売上原価	6,626,484	6,428,387
売上総利益	2,582,290	2,475,471
営業収入		
不動産賃貸収入	65,716	61,515
営業収入合計	65,716	61,515
営業総利益	2,648,007	2,536,986
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	80,873	75,111
配送費	211,718	209,241
販売手数料	34,132	35,627
給料及び手当	452,763	435,110
賞与引当金繰入額	98,085	100,652
退職給付費用	26,209	24,503
雑給	605,414	585,611
水道光熱費	281,337	242,579
減価償却費	102,592	134,059
地代家賃	204,928	163,943
その他	502,970	481,199
販売費及び一般管理費合計	2,601,025	2,487,639
営業利益	46,981	49,346
営業外収益		
受取利息	1,046	1,041
受取配当金	4,426	4,734
受取事務手数料	3,348	1,347
助成金収入	603	—
雑収入	3,411	5,195
営業外収益合計	12,836	12,318
営業外費用		
支払利息	5,042	7,016
雑損失	419	807
シンジケートローン手数料	—	40,289
営業外費用合計	5,461	48,113
経常利益	54,355	13,551
特別利益		
受取補償金	—	61,200
特別利益合計	—	61,200
特別損失		
減損損失	2,300	7,086
固定資産除売却損	4,184	13,522
特別損失合計	6,484	20,608
税引前四半期純利益	47,871	54,143
法人税、住民税及び事業税	24,967	24,419
法人税等調整額	△8,562	△9,447
法人税等合計	16,404	14,972
四半期純利益	31,466	39,170

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。